

スマート農業ワークショップの成果 ＜グループディスカッションの総括＞

第1回・第2回 R6.11.7/11

第1回・第2回 ニーズ ロボット技術の活用/データを活用した農業の実践

■ロボット技術のニーズ

- ・自動操舵トラクタを導入したい
- ・ドローンを活用したい(可変施肥・防除)
- ・基盤整備(大区画化等)が必要

■データ活用のニーズ

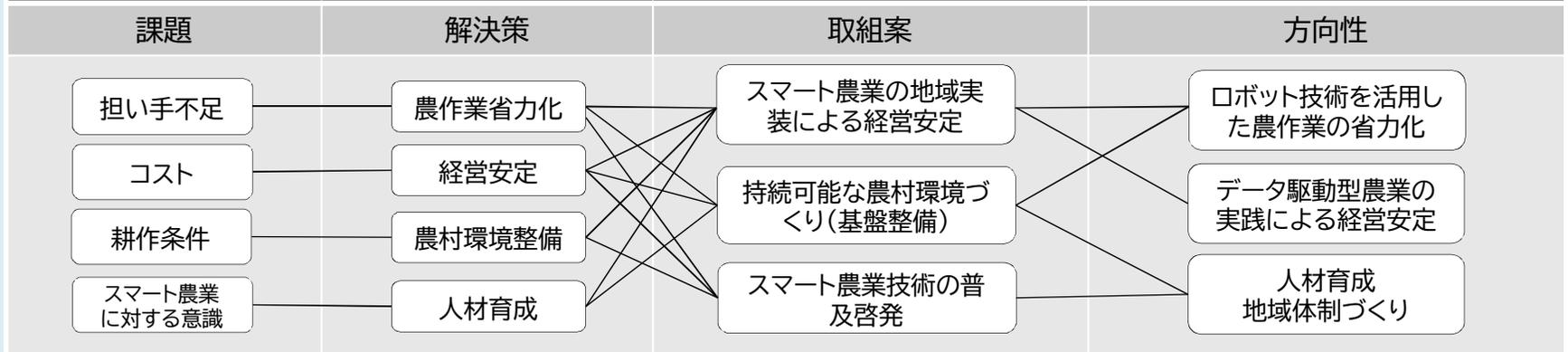
- ・気象データの活用(経験と勘からの脱却)
- ・データに基づく施設園芸における環境制御
- ・リモートセンシングによる収穫適期・病害虫予測

■スマート農業に関する課題

- ・機械導入費用(初期コストが高い)
- ・防風林周辺等の電波不感地帯の解消

第3回 R7.2.29

第3回 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく (持続可能な農村環境づくりに重要なことは?)



第4回 R7.7.2

第4回 市が推進すべき具体的な取組

ロボット技術を活用した農作業の省力化	<ul style="list-style-type: none"> ・操作習得や通信環境の課題。 ・行政による地域全体でのスマート農業推進体制の構築。
データ駆動型農業の実践による経営安定化	<ul style="list-style-type: none"> ・農家単独では難しいデータ蓄積や共有の仕組みづくり。 ・経験のデータ化と継承を通じて、精密農業の推進と安定化。
人材育成・地域体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業技術格差の解消や情報発信による魅力づくり。
機器の導入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・機器購入に対する補助制度の充実。

第5回 R7.10.1

第5回 令和8年度以降の取組に関する合意形成

- 取組1 スマート農業情報通信基盤の整備
- 取組2 スマート農業を最大限活用するための基盤整備(圃場の大区画化等)
- 取組3 スマート農業に関する普及啓発の強化
- 取組4 関係機関との連携推進
- 取組5 スマート農業機械導入支援

